

大規模災害協定に基づく連絡会（始良伊佐ブロック）議事録

日 時：平成 28 年 6 月 2 日 14：00～15：00

場 所：始良・伊佐地域振興局本館 4 階中会議室

出席者：（発注者側）

建 設 部 福元部長

河川港湾課 脇園課長、柏木係長、川路係長

土木建築課 城戸課長、徳技術補佐、日高係長、城下係長

伊佐市駐在 七夕参事、大迫技術主幹、深町技術主幹

事 務 局 堀之内技術調整係長

（協会側）

役 員 安永会長、中島理事、上野理事

連絡責任者 塚田秀一（正：中島測量設計）、西内浩二（副：新日本技術 C）

参加企業 山中一秀（霧島エンジニアリング）、松田有司（南生測量設計）、

築詰博義（大進）、脇竜一（大和測量設計）

（地質調査業協会）

理事長 他 7 名

1. 開会挨拶

（福元部長） ・相互に連絡を密にして、いざという時に迅速に動けるようにしたい。

（安永会長） ・いざというときに迷走しないように、日ごろから訓練する。

2. 協定書及び連絡体制について

- ・堀之内係長より、県土木部側の連絡体制表を基に説明があった。尚、勤務時間外連絡先の携帯電話番号は、個人の番号なので取扱いを注意するようにとの事。

3. 支援協力の範囲及び被害状況調査内容について

- ・堀之内係長より、協定書の第 1 条（目的）、第 2 条（対象となる大規模災害）が説明された。
- ・中島理事が、協定書の第 3 条（支援協力の内容）を説明した。また、大規模災害時には、地元業者から 50 音順で連絡をすることと、災害対応講習会の受講者のみが支援協力を携わることができる旨を説明した。

4. 公共土木施設等の状況について

- ・堀之内係長より、始良・伊佐局管内の公共土木施設概要が説明された。内容は、管内市町の面積と人口、道路の延長とそれらの改良率および舗装率、河川の延長と改修率、

砂防、急傾斜地等の土砂災害に対する整備率、海岸の管理延長、港湾漁港における管理施設等。

5. 意見交換

- (柏木係長) ・熊本地震に査定官をとられている関係で、こちらの査定期間が非常にタイトになっている。大規模ではない通常の災害業務でもフレキシブルに対応して頂きたい。
- (安永会長) ・当協定は、大規模災害における初動段階のマンパワー不足に対するものである。その問題においては理解ができるが、初動の次段階にあたるものであり、今後の課題であると心得ている。
- (福元部長) ・コンサル側で業者を決めてもらい、随契ができれば一番良いが、それには色々な課題があり困難である。
- (安永会長) ・技術管理室とも継続的に協議し、良い形を作っていくたい。



